

第 26 週

質問 69. 十字架上で成し遂げたキリストの贖罪の働きが、あなたのためであることを、洗礼が、どのように思い起こさせ、確信させてくれますか。

答え I 私たちの汚れた体を水で洗い流すように、キリストの血潮と聖霊によって、私の罪による私の靈魂を清めるという約束の上で、⁰¹キリストは水を持って外部的に洗う、⁰²制度を定められました。

① 古い契約では、水や血を振りかける儀式がありますが、清められることと聖なるものと区別することを象徴する行為でした。犠牲の捧げとともに水を振りかけるのは民数記 19 章に記されていて、血を振りかけるのは出エジプト 29 章 21 節、レビ記 14 章 7 節に記されています。このように水と血を振りかける儀式を通して預言者たちは、定めの時が来たら、神が直接、ユダヤ人（エゼキエル 36:25-27）と、異邦人（イザヤ 52:15）とを靈的に洗い、更新させることについて宣言しました（ヘブル 12:24）。

② イエスさまより先立ってバプテスマ・ヨハネは、水によって洗礼を受けました。イエスさま自身もバプテスマ・ヨハネから洗礼を受けられました（マタイ 3:15）

01 マタイ 3:11、マルコ 16:16、ヨハネ 1:33、使徒 2:38、ロマ 6:3-4、I ペテロ 3:21.

02 マタイ 28:19.

イエスさまは、悔い改めの洗礼を受け入れましたが、それは、イエスさま自身に罪があるからではなく、世の罪を取り除く小羊だったからです。洗礼は、弟子として受け入れられる表示でもあります。洗礼は、キリストが贖罪のために捧げられたことが根拠となって、罪の赦しを受ける証拠となります。それゆえキリストは、新しい契約において洗礼を礼典として定めたのです(マタイ 28:19)。

③ 洗礼について、水に沈められることと表現する聖句があります。古い人は葬られ、新しい人として生まれることに対する表現です(ロマ 6:3-4、コロサイ 2:12、エペソ 5:26)。東方教会は未だに、水に沈められる洗礼を行います。ところが、西方教会は13世紀以降から水に沈められる代わり、水を注ぎかけることで施行しています。水を頭に注ぎかけるとは、頭が完全に水に沈められたことを表します。使徒たちも、キリストの血を注ぎかけることと記しています(1ペテロ 1:2、ヘブル 10:22, 12:24)。

このような洗礼方式についてカルヴァンは、「水に完全に沈められようと、水に沈められることを三回、また一回しようと、また水の注ぎかけをしようと、それは重要なことではありません。もし初代教会が水に沈めることを施行したとしても、それは、その状況に従った教会の決定に任せるがよい」と述べました。

④ 洗礼は確かに、私はキリストの血と聖霊によって、きれいに洗われたことを記憶させ、確信するようにさせる証しです。つまり、キリストの血と聖霊によって、私たちのすべての罪を洗い流すことを示すしるしです。霊的に清められたことを証しすることで、私たちに確信を与えることです。汚染され、汚れた体が醜いように(らい病人の皮膚と傷の跡が醜いように)罪によって汚染された靈魂の汚れが、きれいに洗われることなのです。

それゆえ洗礼は、キリストの血の重要性をさらに思い起こさせます。洗礼は、古い人が葬られたことを一層思い起こさせ、霊的に目覚められた新しい人とし

て、聖さを慕い求め、神の栄光のための目的がはっきりするように記憶させます。それゆえ洗礼は、キリストがご自分の血と聖霊を通して、選ばれた罪人をきれいに洗うことを証しすることなので、見えるものによって、見えない無限なる恵みを現わすことなのです。

質問 70. キリストの血と霊によって洗われるとは、どういう意味ですか。

答え I キリストの血によって洗われたというのは、キリストが十字架上で私たちのために流された血をもって、神は恵みとして、私たちの罪を赦して下さったことを意味します。⁰¹ キリストの霊によって洗われたというのは、聖霊によって私たちを新しく生まれさせて、キリストの肢体となるように清められ、その結果、私たちは罪に対しては死に、聖く責められることのない生活を生きるように、導かれるという意味します。⁰²

① キリストの贖罪の犠牲は、選ばれた罪人たちの罪を赦す根拠を用意しました。キリストは、選ばれた者たちのために（彼らの所にまで下られて）十字架上で血を流され亡くなられました（黙 1:5）。キリストが十字架で流された血は、聖霊によって、選ばれた罪人たちに適用され、罪が洗い流されるのです。

それゆえキリストの血は、実際的に私たちに有益を与えます。それによって私たちの罪が赦されるのです（使徒 2:38）。これは、神が値なしに与える恵みです（テトス 3:5-7）。神は、キリストの犠牲を通して、選ばれた罪人の罪を赦すの

01 エゼキエル 36:25、ゼカリヤ 13:1、エペソ 1:7、ヘブル 12:24、I ペテロ 1:2、黙 1:5, 7:14.

02 ヨハネ 3:5-8、ロマ 6:4、I コリント 6:11、コロサイ 2:11、ロマ 7:23.

です。それゆえ、罪の赦しを受けた罪人は、それ以上、罪に定められる恐れはなくなります。

② キリストの霊によって洗われるというのは、聖霊さまが選ばれた罪人の内に御業をなして、その心を新しく生まれさせることを言います。これは、聖霊によることです（ヨハネ 3:5、Ⅱコリント 5:17）。聖霊さまは、霊魂を清くさせ、キリストの教会の会員として受け入れるに相応しくさせます（エペソ 1:23、Ⅰコリント 12:13）。そして、真に新生された霊魂には、聖化が始まります。そういうわけで、義認と聖化は、必ず、連結されているのです。

義と認められた者には、直ちに、聖さと敬虔を追求する生活が始まります。つまり、罪に対しては漸進的に死んでいき、聖く責められることのない聖なる生活に導かれていきます（ガラテヤ 3:17、コロサイ 2:6、ロマ 6:4）。漸進的というのは成長を意味します（エペソ 4:15）。従ってキリストが、私たちの内に御業をなしたことを、聖霊によってますます確信されていきます。

③ キリストの恩徳は、義認と聖化です。洗われるというのは、キリストの血の恩徳によって義と認められることです。キリストの血は、義とさせ、キリストの霊は、聖くさせます。キリストの血は、罪と罪に対する裁きを取り除き、キリストの霊は、罪の力を取り去らせます。キリストの血は、神の御前で義とさせ、キリストの霊は、私たちの内に神の形を造って行きます。

キリストの血による恩徳は、このように二つですが、これは分離されることはできません。つまり、ある人が、自分は義と認められたと思っているが、その人に、聖く生きようとする追求がなければ、まだ完全ではないが、聖い生活が全然表れないのなら、その人にはまだ、義とされた義認は起こっていないのです。その人は自分を欺いている状態です。義と認められたなら、必ず、聖化として示され証しされるからです。それで、ヘブル 12 章 14 節では、聖化がなければ救いはないと語っているのです。さらにイエスさまも、実によって木を知るようになると語られたからです（マタイ 12:33）。

質問 71. 私たちが水の洗礼によって、洗い流されたように、キリストは、キリストの血と霊によって、私たちを確実に洗うという約束が、どこにありますか。

答え I キリストは洗礼を制定なさったとき、「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子としなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授けなさい、⁰¹と告げられ、「信じて洗礼を受ける者は救われる。しかし信じない者は罪に定められる、⁰²と仰せました。この約束は、洗礼が新生の洗い⁰³」とか「罪の洗い⁰⁴」と言及された箇所でも反復されました。

① 洗礼は、キリストが昇天なさる直前に制定なさったことです（マタイ 28:18-20）。ここで洗礼は、弟子と関連されています。古い契約において割礼は、神が、イスラエルと結んだ契約として受け入れられた表示でした。しかし、新しい契約での洗礼は、神の国の民たち、つまり、すべての民族の中から召された弟子たちに限られます（使徒 10:34、35）。信じる者が、洗礼を受けることと語っているのです。

テトス 3 章 5 節でも、新生と洗礼が関連されていることと語っています。使徒 22 章 16 節では、洗礼と罪を洗うことと語っています。このような聖句は、外的に行われる洗礼が、主によって制定されたものとして、罪の赦しを意味することと見せてくれます。洗礼は、キリストによって選ばれた民に、聖霊が御業をなして、彼らが義とされ、聖なる者とされた表示です。

01 マタイ 28:19.

02 マルコ 16:16.

03 テトス 3:5.

04 使徒 22:16. .

このように洗礼は、救いの約束と連結されているから、必ず、信者にだけ適用されることです。従って、洗礼を受けたとしても信仰がない者は、必ず、罪に定められるでしょう。

② この命令によって洗礼は、三位の神の名によって施行されることと語っています。これは外的に、水に沈められることですが、内的には、神の御名の中に沈められることで、神との交わりの中に沈められることを意味します(民6:27、エレミヤ15:16)。それゆえ、三位の神さまは、信じる者に、ご自分が契約の神であることを確信させていただきます。

御父は信じる者に、その人が神の子どもとして受け入れられたことを約束なさり、御子は、信じる者にご自分の恩徳を分け与え、聖霊さまは、信じる者を聖くさせ、永遠の命として保たせます。従ってキリストの内にいる者は、たとえ、弱い者であっても、信仰によってキリストの恩徳を続けて味わうことができます。

③ 私たちは、キリストの血の恵みと、キリストの霊によって洗われたことの重要性を、洗礼を通して明確に悟らなければなりません。また、この恵みによって、神の審判から免れ、救いの恩徳に参与するようになったことを感謝しなければなりません。私たちはキリストの義と、清められることなしには、神の面前に立つことはできません。キリストの血と、このような恩徳を持ってこそ、私たちが神の御前に立つことができるだけでなく、神の恵みを受けるために、神の御座に近づき求めることができるようになりました。

私たちは、神の深い恵みの意味などを、洗礼を通して明確に理解し、神の恵みによって永遠の命を得るようになったことを感謝しなければなりません。しかし、一方で、このような恵みも知らずに、未だに回心しない霊魂に対して、真理を教えようとする熱望がなければなりません。彼らも真理を学ぶ中で霊的に目が開かれて、自分たちの罪と悪と救いの必要性を悟って、キリストを発見するまで、彼らのために祈らなければならないのです。